

風の塔の北では水深 17mあたりで無酸素水塊がありました。

東京湾溶存酸素情報

神奈川県水産技術センター

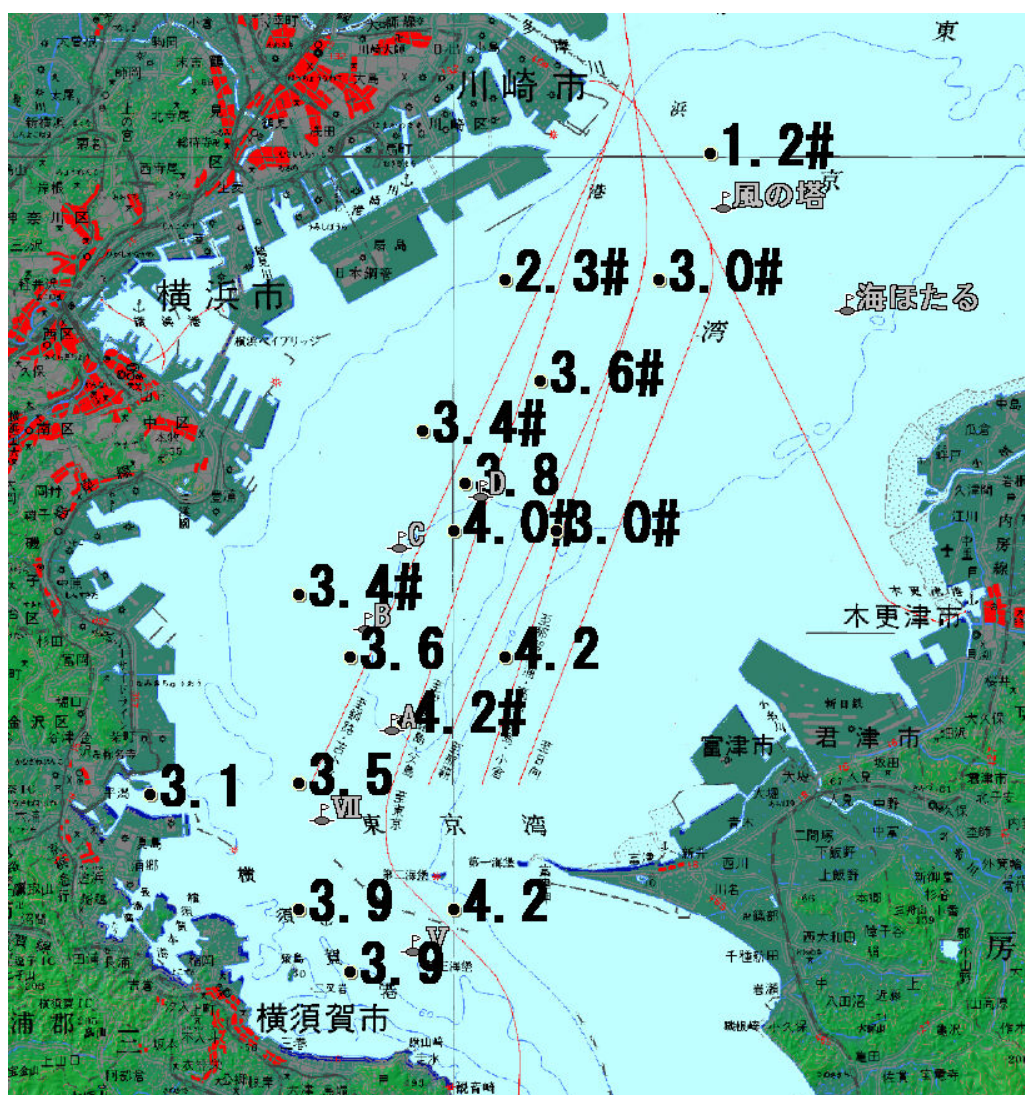
2011/08/24

神奈川県あなご漁業者協議会が横浜市漁協金沢支所の
番只丸により東京湾調査を実施しました。
漁業調査船うしおも調査を実施しました。

○水温は、表層で26~27℃台、底層では16~22℃台です。

○塩分は、表層で26~29台、底層では33~34台です。高塩分水が風の塔の南の底層にまで波及しています。

○底層の貧酸素水塊 ($\leq 2.5\text{ml/l}$) は風の塔の北でのみ見られましたが、広範囲で水深10~20mの中層で酸素量が少なくなっています (図中の“#”をつけた点)。



底層の溶存酸素量 (ml/l)

発行 神奈川県水産技術センター
資源環境部

電話 046(882)2313

風向き次第で中層の酸素量が少ない水が浅瀬に及ぶことがあります。

漁獲物の取り扱いにご注意ください。